

視聽覺教育

第 4 号

岡崎市小中学校視聽覺教育協会

1954



つなひき 市川敏雄

も く じ

- ◇ある技術者の一日……………R 生 二
- ◇劇映画の上映禁止をめぐって……………OK生 三
- ◇映画感想文
 - どぶをみて……………附小 戸 田…五
 - マナスル……………葵中三 後藤銃一…六
- ◇初めて映写機を扱って……………辰石小 T.Y生…七
- ◇教杖映画を扱って見て……………竜中 野村 晃…八
- ◇映画技術者と分布状態……………ハ
- 新購入フィルムの解説……………六名小 渡辺尚三…一〇
- 挙母ライブラリーの視察……………二三
- 視聴覚教育に於ける効果測定の一考察……………
- ……………神尾由男…一四

ある映画技術者

の一日

R 生



ラジオのリズミカルなメロディーと入浴後の熱した肌
に快い風は一日の疲労と緊張とをゆっくり溶してくれ
る。一日のうちで唯一の自分をじっとみつめさせてく
れる機会である。紫煙のゆっくり立ち登る先を焦点の
ない目で追いながら一日を思い返して見た。

先づ市役所へ映写機・フィルムを借用に行くことから
私の一日が始まる。

もうすでに授業は始まっている。受持の児童は自習さ
せ一人の先生に同伴をお願いする。映写機は可成の重
量でとても自転車一台では無理だからである。

時間にせかれ、ふらふらしながら走り一面滑稽な自分
の姿も後で思うと何だかみじめな気がする。こっしな
ければならない現状であるとしても……

道々同伴の先生からも時間と労力の犠牲について苦情
を聞かされる。しかし私の立場として唯「お願いしま
す」と云うより外ないのである。

やつと学校へ着いた頃には可成の疲労感を覚える。け

れども子供達と一緒に準備した会場が私を待っている
時間通り映写しなければ苦情がくる筈一その日の予定
は目茶苦茶になってしまふ。それを思うと映写機をさ
ける腕にも自然力が入る。

映写機の点検、電圧は、暗幕の様子は、そして入場学
年への連絡だ。汗だくだくの中にどうにか時間通り映
写できそうである。

さあそれからが大変である。せまい教室に一ぱい児童
をつめ込む、唯さえ暑い上に遮蔽された部屋で熱した
人いきれにむっとする。

「もう少し何とかならないものか」とは誰しも思うこ
とであるが、講堂がない為、教室を会場にあてその児
童はあいた教室を一日点々と移動し、しかも一日四回
はやらなければならぬ現状である。

市内十八校、日曜、電休をぬけば一日一校で一ヶ月間
の予定は一ぱいで、二日も三日もかけて集に見せるこ
とは不可能である。

その上大きな障害がある。技術者の少いことである。

私と他の一人だけそれも先日M校で行はれた技術者講
習会で覚えたばかり、操作はある程度できてもいざ故
障ともなればお手上げである。二人で午前午后にわか
れ受けもつわけであるが、その間想像以上の緊張の連

続であるせめて一学年に一人位は技術者がほしいものだ。事故なきことを念じつゝスイッチを入れる。メーターと音と画面とを全神経を集中する。

開始してからどれ程たつたか、先生が一人へり二人へり……会場には児童と私のみとなつてしまつた。

私は思わぬ大きな抵抗を強く感じ、重苦しいばかりの圧迫感はどうしようもなかつた。

先生の目まぐるしいまでの多忙な事務一つは視聴覚教育に対する認識の不足がそうさせたかもしれぬが、まだまだこゝにも問題はあつたのだ。

自分だけ苦勞をし、苦勞をすることによつて、視聴覚教育の夢を考へていた私を再び出発点にひきもどさなければならなかつたのだ。

こうしていくつかの問題を含んだ一日は、会場の后片づけそして映写機の返還でやつと終りを告げたのである。いつしか灰皿のタバコはもえ尽し白々と無情な姿を横たえている。

一つ一つの問題に取り組み解決していこうとするこの指をじつとみつめた。私はこうした抵抗が大であればある程内から盛り上げる何ものかを強く感ずるのである。この様に考へこの様に戦う人の一人でも多くなることが期待しながら、私は私の五指をぐつと握りしめた。

劇映画の上映禁止をめぐつて

0・K 生

去る〇月、市内の映画館より、劇映画の禁止をしてもらいたいという強硬な申入れが、市教育委員会になされたことは未だ耳新しいところである。此の数年來何等の支障もなく続けられて來た劇映画の巡回上映が突然映画館側から禁止の申込みを受けることは一体何事であるか、映画関係者は勿論一般市民が自分の耳を疑うのも当然と云わなければならぬ。

一体、斯様な申込みをする映画館は、何を根拠にしているのだろうか。御承知のように日本の一六ミリ映画は殆ど一般映画館で上映される三五ミリ映画の縮小されたものである。従つて一六ミリ映画製作業者は、松竹、大映といった一般映画製作会社から比較的安い権利金で版権を買つて一六ミリ映画を製作するのである。一般映画製作会社から云へば、斯様な僅かな権利金は雑収入の一部に過ぎないので、一六ミリ業者に版権をゆずる時にはかなり過酷と思われれる条件をつけている。即ち其の中的一条に次の様な意味のものがあ

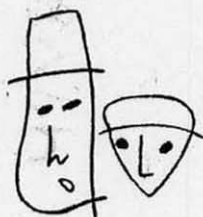
例ば「大映で製作された一六ミリ映画は大映系の映画館ある所を中心に二里半径以内で上映してはならない」ということになつてゐる。

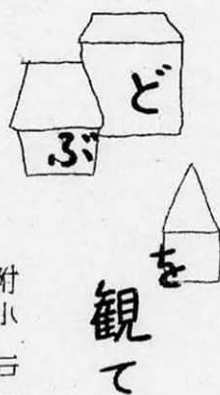
それでは何故今日迄は上映出来たのだらうかという疑問が出て来る。尤も従来とて全然問題がなかつたわけではない。極く田舎の半常設館をめぐつて問題のあつた例はあるが、斯様な都市で起つたことはない。其の原因は一体どこにあるのだらうか。先づ第一に考えられることは十六ミリ映画による巡回映画の普及という点である。市及び各地方事務所による社会教育巡回映画のみならず、其の他商業宣伝目的の巡回映画が入り混つて、其の回数はかなりに上るようになった。一般人にとつては、多少古いのを我慢すれば、無料で優に観覧出来るようになったわけであつて、これが映画館の収入に何等かの影響をおよぼしたことは事実である。

第二の原因としては矢張りデフレーションによる映画館の収入減である。今更新しく述べるまでもなく、此のデフレは大衆のふところを淋しくし、入場税の軽減策の優遇策はあつても、矢張り映画館には相当大きくひびいてゐることである。もつともこのことは、映画館の濫立と相当深い關係をもつてゐる。誠に十萬

都市岡崎の様子を見ると、常設館乃至半常設館を混せて九館を敷えることが出来る。一館当り約一万人、その映画館が運日に上映してゐるわけで、斯様な状態である程度の収入をあげていくのは相当困難である。平直に云つて今回の映画館の申し入れは、その収入減に起因してゐることは明白である。

先日某新聞に、市社会教育映画に再度劇映画が出来るようになるといつたような見出しのもとに、独立プロ系や外国映画などがとりあげられるようになるだらうといつた意味の記事があつた。一般には何か劇映画の上映が緩和された様な印象を与えたと思われるが、事實はそうではない。もともと上記のものは先にのべた様な条件がないので従来とて何等の制限はなかつたのである。而も独立プロ系にしても外国映画にしても本数がいたつて少く、且つ内容的にも、価格の点から云つても色々困難な制約があつて、一六ミリ映画にとつては上映可能な場合が多い。(以下次号) OK生





附小 戸田

日本映画と云えば従来から日本家族制度の枠内で男女の感情の交錯を中心とした悲劇または比喩を主題として取り上げ、それで観客は充分に満足もしていたし、またそれでなければ異行成續もあがらなかつた。だから日本映画には人間生活に共通したところの社会性が欠けていた。確かに日本家族制度の枠内に限られた社会性といったものはあり、それが色々な類型に別けられて強調されてはいた。例えは、母の映画とか、やくざ謳歌の映画とか指適しようと思えば限りがない。

しかし、敗戦後、民主主義の思潮

が日本人の間に流行した。その思潮の好悪は別としても、日本映画の新しい前途にはこの思潮は多分によい影響をもたらしした。

日本映画が国際映画コンクールに示した輝やかしい成長は、日本映画が日本家族制度の主題を破って、人間生活に共通したより普遍的なテーマを追求する社会性をもつた事に外ならない。それは又観客の成長であるとも云えよう。

そのような観点にたつて、どぶを考へてみると、この映画の企図する主題が決して日本的人間感情を強調する点にはなく、吾々庶民の日常生活に共通したところの社会性の上に逞ましくひとつの主題を追求している事が分る。

主人公ツル、吾々の周囲にこのまゝの人間は存在しないかも知れない。しかし、吾々は、うるうる、出て行け、と自分の非行をかくすために

ツルを罵倒するピンちゃん的人間に共鳴することも出来ないのだ。吾々はツル的人間を自らの中に求めたいと願うが応々にしてピンちゃん的人間に逆行している場合が多い。

この映画が、鶴見の工場街をバックにして、その中でストライキを描いている点と、ツルの人間性を表現するに精神荏弱を明確にしている点、並びに長屋の連中にある共通した人間のスルさ、みにくさを強く描いている点、そして、ツルの死と、主題、どぶの内容にしているテーマ等々、一步あやまれば観念遊戯の映画におち入りやすい主題を最後まで社会性を表面に押し出して演出している点など監督新藤兼人の非凡な手腕に日本映画の今后を期待したい。

（附小 戸田）





癸中三年

後藤 銃一

この映画を見て、山登は容易なものではないと知った。ただ私達は登山の事をハイキングと呼んでいる。私達が映画で見た「アナスル」は富士山の二倍近い高い山である。では何故その様な山に登るかといえは、まだ一度も、人間が足をふみ入れたことのない所を探検して、その土地の風土やその他いろいろ自然界の様子を調べるためであると私は考えた。このアナスルの攻襲には日本の隊員によって頂上征服に出発する。

映画感想文
アナスルのふもとで、食料やその他いろいろな登山用具を準備し、道具運びの人夫や「シエルパ」という案内人やとい、第一キャンプに向う。道の無い所や河にかけた、つり

橋や幅のせまい道路行く。第一キャンプに到着ここで頂上攻襲の準備をする。テントやロープや酸素吸入器などの点検をして荷造をする。特にテントやロープは我国で初めて用いる。軽量のものに改良されたものを使用される。ここで一夜を明し、いよいよ本格的な山登りに入る。万年の氷雪にとざされた上を一步一步前進す。途中には、クレパスといい氷の割れ目のことといい、また登山者が一番恐られているのは雪崩と風雪がある。苦難の道を過ぎて最後のベースキャンプに到着して、明日の頂上攻襲の準備をする。頂上攻襲の隊員数は三名によって頂上に向うのである。あくる朝ベースキャンプの人と別れを告げ重い足取りで頂上に向って前進して行くが後三百米ぐらいの所で頂上攻襲の終止符を打ったのである。それは頂上では大暴風雪でこれ以上攻襲不可能となり遂に、涙

をのんでマナスル攻襲を断念したのである。私達はこの映画を見て自然界の恐ろしさよりも強さにも驚いた。私達の住んでいる地球上にもこんな自然界があつて人間に脅威を与えている。この中にある。私達はこれを征服し得んとする人間の意欲こそは、私達の生活の中にも相通じる。意欲であろう。苦難を知りつゝ一步一步よく踏みしめながら、前途をよく知って冒険をおかさずに着実に進む。登山者の苦勞も征服によつて味われる岳びによつて、消されるのであろう。しかもこの映画は頂上あと少しの所で眺めつ、前途の冒険をおかさずに自重しながら去つて来た登山者の心は本当に残念であらうと思つたが、事を進めるによつてよくあることでこの忍耐こそ、私達の涙をさそい、不屈の精神を教えられた。





初めて映写機 を扱って

根石小 D.Y 生

去る五月中旬、六名小学校で行なわれた技術者講習会と六月上旬額田郡地方事務所講習会が開かれたので、なんでもめずらしがりの私はさっそく出かけてみた。始めは心細かったがやはり行っただけのことはあり、これらの視聽覚教育について認識を新にし得るところが多く、よるこんでいる次第です。ところが講習会がすんでさっそく私は習得したもののまだあぶなっかしい手付で心臓強く、市ライブラリーの教材映画「あけはちよう」と「鉄道電化」を借用して教室映画を行なった。当初は校舎の配線による電圧の差でまごつき、他の先生の指導でやっと終えることが出来た次第です。理科的なもの知識の乏しい私には電圧は電線の太さにも関係すること知らずに映写してみても音量がさっぱりです。トランスをあげればヒューズが二度も切れる仕末に手を上げてしまった。汗びっしりになるし、児童はワイワイ騒ぐし暑

いし……エキサイターは、サウンドドラムは、ファーンはと、当ってみただが異常なく、遂に、助けを求めらにいたった。その結果、この校舎は配線が悪く、尚、線は細い為とわかり、別校舎にうつして行なった次第です。これが相手が児童だったからよいものの、大人だったら大変な騒ぎになっていたことでしょう。全体、何にせよ、特に機械の物は事前に予行を行なってみる事の必要さをつくづく感じました。

こう事態になった為最初の一卷は事前映写中の指導もあつたものでありません。ただ映写中機械の調子は如何と全神聖を集中してにらめっこしているだけでした。でも、どうやら無事に一卷終りほっとひといきし、次の一卷からは気分的に余裕が出来て、児童の様子も画面もわかる様になりました。汗びっしりになってこんなに大騒ぎするならもうたくさんだと正直なところ私自身こりてしまいました。映写後児童と話し合ってみると驚くほどよく見ていたことがわかりました。内容も問題をよくつかんで理解されていました。私がこんな下手な事をしても、これだけ得るところがあり、映写の力の大きさにまた驚きました。下手な授業を長々とやるより一本の優秀な映写を見せた方がよっぽど早く正確であるでしょう。私は懲りました。が又、やってみようと思っっています。



教材映画を扱って見て

竜中 野村 晃

教材映画を扱ってより約半年、未だにスムーズな運営が出来ないとは我れながらあきれている。私は教材映画とは、授業に於てしばしば使われる掛図の様なもので、より学習効果をあげる為に平素の授業に気軽に利用されるべきものであると思っている。だから教師は、誰でも必要に応じて映写機を操作出来る様になってほしいと思うのだが、映画上映と云えば常に二、三の教師が映写機を動かしているに過ぎないと云うのが現状である。教材映画の完全利用は、全教師の映写技術者化からと云えよう。

この現象は一つには、各学校に映写機が無いと云う事が大きな原因であろう。勿論、映写機の無い学校は、市の視聴覚ライブラリーに備えつけた映写機を利用すればよいわけだが、二、三台の映写機を二十に近い学校で使用するのであるから、使用回数、使用曜日等が非常に制限される。止むを得ず私の学校では、月一回行われる全校生徒鑑賞の講堂映画の時に教材フィルムを借用し、同時上

映画技術者と その分布状態

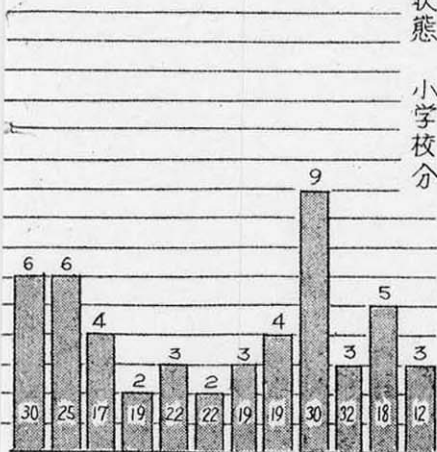


(昭和29.9.1現在)

映画教育の普及と映写技術者の少くとは密接な関係がある。殊に映画を教材に使用するには、理想から云えば全員であるが、現状から眺めて一学年一人当の技術者は是非なければならぬ。

斯様な立場から、市内の映写技術者の数と、その分布の状態を調査して見た。新規技術者を含めて次の通りである。

一分布状態 小学校分



梅園 根石 男川 美合 岡崎 羽根 三島 六名 運尺 広幡 井田 附小



映と行くわけだが、多数を同室に集めて、一時間半なり、二時間なり映画を鑑賞するとなると、生徒の気分は自然に映画館にて映画を見る気分となり、劇映画を要求し、いくら学習に関係深いものでも熱心には見てくれない。又、授業で、例えば稲の事を学んでも、その直後で「稲の一生」を見せるならば、大変熱心に見てくれるが、月一回の講堂映画を待つて行くとなると、その間の一週間なり二週間なりの時間と云うものは、生徒の稲に對する關心をうすくするのに役立つのみで、前のべたのと同じ結果になつてしまふ。だから、教材映画はその授業の指導案にくみ入れ、学習の度ごとに一学級位の人數に見せる様にすべきだと思ふ。それには、各校映写機を設置する完全なる暗幕を設備した特別教室、全教師の映写機操作の可能なる事、映画を取り入れたるカリキュラムの作成等、尙前途は多事多難である。それだけに又、興味も大きく張合もあると云うものであらう。

おわひ

十一月「講堂映画プラン」は紙面の都合上載せられませんでしたのでおわびいたします。

二、昭和二十九年度新規技術者氏名

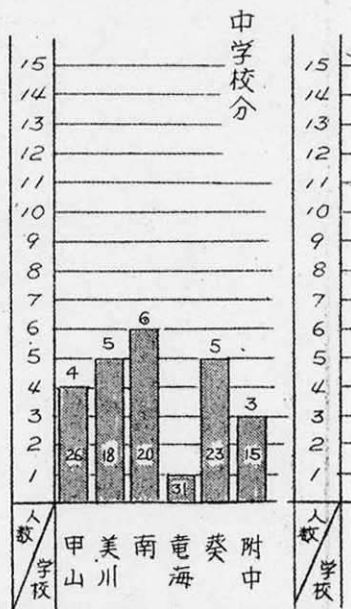
小学校介

井田 長田重雄
連尺 鈴木幸子 石井練児 近藤 衛 光田 博
六名 鈴木清美 米沢辰夫
男川 小島和一
根石 山本 尚 宇野五郎
梅園 内田松天 岩見孝彦 安藤恒夫
附小

中学校介

葵 岩月昭二
美川 中西克己
甲山 山本 直 城殿 晃
南 柴田 正 黒柳一夫

調査部



新購入

(廿九年度二期分)



フィルムの解説

六名小 渡辺尚三

台風十五号の荒れくるった九月一八日の午後二時三十分から七時三十分まで正味五時間におたる試写を行いました。委員の真剣な話し合いによって評価をし、次のように購入するフィルムを決定いたしました。簡単ではありますが、今回購入することに決定いたしましたフィルムの内容の解説をしまして、皆様に大いに利用していただくようお願いいたします。

— 社会科関係フィルム —

1. 「魚のとれるまで」— 二巻

この映画は、低学年を対象としたもの。この映画を使用し生々とした学習としていただきたいと思えます。以上のような点をねらって、遠洋において魚がとられそれが市場に送られるまでを、低学年の児童にも理

解できるように構成されたものであります。

2. 「青果市場」— 二巻

この映画の、カンランの送り出しの場合は渥美郡の農協のようすが写されております。

東京の「青果市場」を中心として「衣食住の物資をどのようにして入手するか」とか「生活に必要な物資の流通はどのようになされているか」というような学習をする場合に使用していただければ有効であると思えます。

3. 「火事をなくする仕組」— 二巻

社会保全の仕事の代表的なものとして「消防署のはたらき」をとりあげ、次のような内容をもつて、児童の社会保全にたいする見方や考え方を拡充しようとするものであります。

・ 今まで日本の各地におこった大火事の例

・ 消防署の組織 働き

・ 消火に協力している人たちの働き

・ 消火施設を常に充実しておくことの必要性

・ 消火のさまざまな原因

・ 町の入たちの非協力、無関心 など

4. 「電信の働き」

この映画では、「私たちの生活に必要な通信はいか

に行われているか。を一つは公的通信社の活動を通じて、一つは都会と山村との結びつきを描いて、多方面な分析の手がかりとしている。

・通信に必要な時間と施設との関係

・近代的通信機関への考察（無電・テレタイプ・模写電報・電送写真・電送管）

・船中や山村・車中などにある人への通信と今後の通信発達の重点

5. 「工業とその資源」——パルプ工業

パルプ工業が「文化のパロメーターである」ことから、化学工業の一つとしての、この工業の成立条件を分析させることをねらいとしています。

つぎにこの映画の構成は

・パルプ工業とわれわれの生活との関係を示すもの
・日本のパルプ工業の世界的位置、アジアにおける位置を考えさせるもの

・パルプ工業発達の条件——自然的条件、社会的条件

・化学パルプが出来上る過程の概観して

○施設設備の拡大なこと

○原料が非常に多くいること

○高い科学技術が必要なこと

などを考察する

6. 「小売店の仕事」

この映画は、社会科学習・消費機構の問題中、小売店の意義および位置づけをする場合にもっとも適切に使えると思います。内容も小売店が消費機構の中でのいかなる位置にあり（製造業者・問屋との関係など）そのためにどんな仕事をしていかねばならないかという風に描かれてあります。

——理科関係フィルム——

1. 「動く地球」 対象……小・高 中学

この映画は地球がまるいこと、および地球の自転と公転に関する基本的な事実を描き、昼夜がくりかえされ四季が循環する理由を示しています。その内容は、

○地球は大きな球であること、自転していること
○昼夜は地球の自転によっておこること

○地球の公転、四季の循環

○地球の軌道、太陽との距離、進行速度

2. 「月」 対象……小・高 中学

月が地球に与える影響に重点をおいて、月に關する天文学的資料を示しています。

○肉眼と望遠鏡による月の姿

○月の引力による潮の満干

○月による星の掩蔽

○月の運行と日蝕 月蝕

3. 「水の循環」 対象……小・高 中学

この映画は、水が地面から空へ、空から地面へと絶えず循環しているありさまを、描画と実際の場面とで描いたものであります。

○水の循環のいろいろな部面（霧、雨、泉、川など）

○水の循環全体の図解

○水が蒸発して雲となり、雲が雨となって降る様子
○地上に降った雨が川となつて海へ流れている様子
○地下水について、洪水の災害とそのありさま

4. 「耳のはたらき」 対象……小・高 中学

この映画は、人間の耳の構造と機能を、すぐれた動画と解剖学的撮影の併用によつて、わかりやすく説明し、さらに耳の疾患や衛生についても述べています。

○外耳及び鼓膜の構造と機能

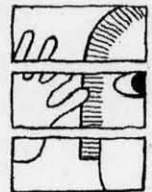
○中耳と中耳骨の構造と機能

○内耳、半規管とかたつむり管の構造と機能

○耳あかと外耳道の障害

○耳管の構造および機能とその疾患

○中耳の疾患



拳母ライブラリーの視察

調査部

拳母ライブラリーの現状を知るために去る九月廿一日調査部が出張、調査にあたりました。以下拳母ライブラリーの係の方との一問一答であります。

一、ライブラリーの起源

拳母にライブラリーが誕生するに至った問題は、業者より団体観賞の依頼が多く、それにいちいち児童の団体観賞をさせていては、授業に支障をきたし、また父兄の負担も大きくなると云ふ所から、これをなんとかしたいと思う気持ちがライブラリーの誕生の因となった。

二、映写機について

映写機は現在四台内二台は学校所有のものである。こゝお話しすると学校数に比し多い様に思えるが協会所有の映写機は一台であり、もつとふやさなければならぬと思つてゐる。

三、予算について

当初は児童一人当り月額五円の三十一万七千二百五十円であったが後市議会より助成金として三十万円、児

昭和29年度挙母市小中学校視聴覚教育協

会追加更正予算案

歳入の部

	追加更正 予算額	既 済 予算額	附 記
会 費		317,250	児童生徒/1当月5月2050名
助 成 金	300,000		市助成金
計	300,000	317,250	

歳出の部

	追加更正 予算額	既 済 予算額	附 記
会 議 費	10,000	1,000	理事会 運営委員会等
2 争 務 費	2,000	1,000	
1 通信運政費	1,000	1,000	フィルム郵送 その他
2 争 務 費	1,000		
3 争 茶 費	288,000	315,250	
1 購 入 費	255,000	231,250	映写機 放映フィルム 購入 その他
2 借 上 料	28,000	72,000	フィルム借上料
3 消 耗 品 費	2,000	8,000	映写ランプ オイル その他
4 修 理 費	3,000	4,000	映写機修理その他
計	300,000	317,250	

童一人当り四十三円が支出され当事者として雇んでい
る次第で、以下予算書の一部である。

四、現にあるフィルムについて

現在放映フィルムは協会所有のもの六本教育委員会所
有のもの五本でまだまだと云う処だ。

所有フィルム一覧表

視聴覚協会所有 教育委員会所有

- 1. あげは蝶 二巻
- 1. 石灰の話 二巻

- 2. 凸レンズ 二巻
- 2. 鮭 二巻

- 3. 細菌物語 二巻
- 3. 水の循環 一巻

4 中 尊 寺 二巻 4 耳のゆき 一巻

5 産業と電力 二巻 5 天竜川 二巻

6 ラジオの話 二巻

以上が現に在るフィルム

五、映写について

映写については月一回七枚を巡回する講堂映画と、教
材映画との二本立であり特に講堂映画については、教
材映画を一本つづけて巡している。

六、運搬について

挙母もやはり運搬については岡崎同様苦しんでいる。
しかしこの点は市の理解あるラジオ屋さんにガソリン
代位の謝礼で運んでいただいている。

④ 先回視察の時の理事会で丁中学校にある三輪で運搬
しましたよとの話しが自発的に出て話がまとまった。

話し合った事は以上であるが特に感じた事は挙母市に於
ては、団体観賞（映画館）を全面的に取り上げていない
こと、また市より三十万円児童一人当り四十三円が助成
金として支出されたこと、等である。

我々調査部の視察に対して教育長始めの方々が、こんせ
つていねいにお話し下さり理事会の出席もさせていただ
きなばしい次第であり、非常に意義有る視察であった。

②

視聴覚教育に於ける効果測定の一考察

県教委 社会教育課

神尾 由男

前号に於ては事前テストの成績が異なっている場合に如何に有効であるかを明らかにするかに終った。

さて前号の二三%とそれぞれのグループの事前テストのパーセンテージの比率パーセンテージの増加率を計算してみるとA B両グループにおけるこの二三%の意味がはっきりしてくる。

$$Aグループ \quad \frac{54-31}{31} \times 100 = \frac{23}{31} \times 100 = 74\%$$

$$Bグループ \quad \frac{40-17}{17} \times 100 = \frac{23}{17} \times 100 = 135\%$$

すなわち著しく二三%であるが、Aグループにおいては七四%、Bグループにおいては実に一三五%の増加である事が分る。このパーセンテージの増加率は視覚教材の効果を表わす指数としてしばしば用いられることのあるものであるが、ここに注意しなければならぬことがある。それは、事前テストの正答率のすぐれている方のグループがとかくパーセンテージの増加率に於て僅少な値を示すことが多いから、その値を以てしては、到底視覚教材そのものの有効度とみなすことは出来にくいという事である。極端な例であるが次の例を考えるとよくわかる。

事前テスト 事後テスト

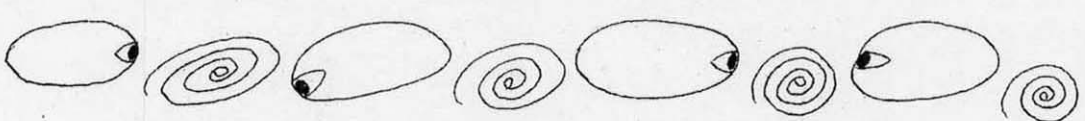
Aグループ 80% 90%

Bグループ 10% 20%

この場合もA Bグループの進歩はともに10%であるが、パーセンテージの増加率は、前式の計算により、Aグループが僅か一三%であるのに対して、Bグループは一〇〇%である。このようにして、事前テストの正答率が異なる二つのグループを比較するためには、正答率のパーセンテージの増加率をみても、それは不適當である事がわかる。

有効度指数はこの弊害を除去するために考えられるので次の公式をもつて示される。

$$\text{有効度指数} = 100 \times \frac{\text{実際の正答率の増加}}{\text{可能な最大の正答率の増加}} = 100 \times \frac{P_2 - P_1}{100 - P_1}$$



この式に於て、 P_1 は事前テストにおける正答率の%、 P_2 は事後テストにおける正答率の%を示す。

即進歩の最大の可能性に対して、どの程度まで実際に進歩し得たかを示す指数である。

前号の(口)の例を有効度指数を適用してみると、次のようになる。

$$\frac{47\% - 7\%}{100 - 31} \times 100 = \frac{23}{69} \times 100 = 33\%$$

$$\frac{87\% - 7\%}{100 - 17} \times 100 = \frac{23}{83} \times 100 = 28\%$$

これによつて、それぞれ等しく二三%の増加であつても、Aグループの方が、Bグループよりも五%だけ多くの学習効果をあげ、Aスライド(映画)の方がBスライド(映画)よりも一層有効であることが明らかになる。

なお、注意することは、この公式について、事前テストにおいても事後テストにおいても、正答の中には推測によるまぐれ当りの解答が含まれているのである。事は否定出来ない。即ちなりなりは実際を知っている正答率 K_1 、 K_2 に比べてより大きな値をもっていると考えられる。

そこで事前テストおよび事後テストに含まれる

推測によるまぐれ当りの割合を同じものと仮定して次のような修正を試みられている。

$$P_1 = K_1 + X(100 - K_1) \quad P_2 = K_2 + X(100 - K_2)$$

(二)に於て、 $(100 - X_1)(100 - K_2)$ はそれぞれ事前テストおよび事後テストにおいて、実際には知っていないなかつた率、 X はまぐれ当りの割合である。

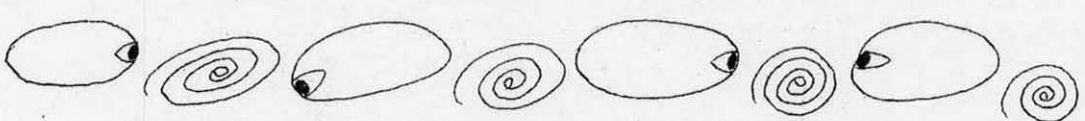
これを先の有効度指数の公式に代入すると、

$$\frac{P_2 - P_1}{100 - P_1} \times 100 = \frac{[K_2 + X(100 - K_2)] - [K_1 + X(100 - K_1)]}{100 - [K_1 + X(100 - K_1)]}$$

$$X \times 100 = \frac{K_2(X) - K_1(X)}{100 - (X)(100 - K_1)} \times 100 = \frac{K_2 - K_1}{100 - K_1} \times 100$$

以上は、直前と直後に同一のテストを課す再テスト法であるが、再テスト法の欠点として、初めのテスト後のテストとの間に時間をおくと、後のテストの方が一般に成績がよくなるという傾向がある事をなんとか除去しなければならぬと考える。

以上で二回に渡つた効果測定の一考察の項を終りたいが、又機会があればデイスツションによる評価について考へて見たい。



この式に於て、 P_1 は事前テストにおける正答率の%、 P_2 は事後テストにおける正答率の%を示す。

即進歩の最大の可能性に対して、どの程度まで実際に進歩し得たかを示す指数である。

前号の(口)の例を有効度指数を適用してみると、次のようになる。

$$\frac{47\% - 7\%}{100 - 31\%} \times 100 = \frac{23}{69} \times 100 = 33\%$$

$$\frac{87\% - 7\%}{100 - 17\%} \times 100 = \frac{23}{83} \times 100 = 28\%$$

これによつて、それぞれ等しく二三%の増加があつても、Aグループの方が、Bグループよりも五%だけ多くの学習効果をあげ、Aスライド(映画)の方がBスライド(映画)よりも一層有効であることが明らかになる。

なお、注意することは、この公式について、事前テストにおいても事後テストにおいても、正答の中には推測によるまぐれ当りの解答が含まれているのである。事は否定出来ない。即ちなりならずは実際に知つていゝる正答率 K_1 、 K_2 に比べてより大きな値をもつてゐると考えられる。

そこで事前テストおよび事後テストに含まれる

推測によるまぐれ当りの割合を同じものと仮定して次のような修正を試みられている。

$$P_1 = K_1 + X(100 - K_1) \quad P_2 = K_2 + X(100 - K_2)$$

(二)に於て、 $(100 - X_1)$ 、 $(100 - X_2)$ はそれぞれ事前テストおよび事後テストにおいて、実際には知つていゝなかつた率、 X はまぐれ当りの割合である。

これを先の有効度指数の公式に代入すると、

$$\frac{P_2 - P_1}{100 - P_1} \times 100 = \frac{[K_2 + X(100 - K_2)] - [K_1 + X(100 - K_1)]}{100 - [K_1 + X(100 - K_1)]}$$

$$X \times 100 = \frac{K_2(X) - K_1(X)}{100 - (X) - (X)} \times 100 = \frac{K_2 - K_1}{100 - K_1} \times 100$$

以上は、直前と直後に同一のテストを課す再テスト法であるが、再テスト法の欠点として、初めのテスト後のテストとの間に時間をおくと、後のテストの方が一般に成績がよくなるという傾向がある事をなんとか除去しなければならぬといふ考へる。

以上で二回に渡つた効果測定の一考察の項を終りたいが、又機会があればデイスツシヨンによる評価について考へて見たい。

トーカー修理
アンプ修理
テーブコーダー修理
映写用電球
幻灯用電球
シンクロ電球 } 販売

シバタラジオ

技術部及営業部
(康生電停前 電話 931)

写真撮影

- ◎現像・焼付・引伸
- ◎写真技術一般

小川写真館

岡崎市本町
(高橋百貨店前)
電話 2192番

いつも洋装店界に
新風を吹き起す

毛糸と服地の

是之字屋洋装店

TEL. 1406
岡慶の子ケット大歓迎
先生方の店として御後援下さい。

皆様の

正文館

新刊書籍
東康生通り TEL. 4857

愛知県映画教育研究協議会開催のお知らせ

- 時 11月29日(土) 9.30～3.30
- 所 岡崎市立六名小学校

- 題 指導法とライブラリーの問題
 - 講師 △国立教育研究所 岩井龍也氏
△新潟市映画ライブラリー主事(予定)
-
-